

課題のねらい (目標) 生活科は、教室から出て自然や社会の環境、友達と触れ合い、具体的な活動や体験を通して、生活していく上で必要な習慣や技能を身につけさせる教科である。その際、触れ合う前後に、「情報」があるかないかとでは随分と違った活動となってくる。そこで、以下のような「新聞」情報を使った授業をやってみる。

単元名 「1年生活科：きせつさがし—冬—」

学習内容 a . 授業時限：3時間

時	主たる発問・指示	指導のポイント
1	<p><u>発問 1</u> . この写真からどんなことがわかりますか。気づいたことをノートに簡条書きにしていきなさい。</p> <p><u>指示 1</u> . 1つ書いたら、先生にノートを見せに来なさい</p> <p><u>発問 2</u> . この「白い」のは、一体何でしょうか。</p> <p><u>発問 3</u> . ここは、どこでしょう</p> <p><u>発問 4</u> . 何時頃の写真でしょう</p> <p><u>発問 5</u> . 天気は、どうですか。</p>	<p>「簡条書き」という学習は、1年生ながらに以前に押さえておいた。何かについて発見してきた時に、「番号を打っておくと見やすいね」等と指導しておけばよい。なお、写真は拡大カラーコピーにかけるといいだろう。</p> <p>だらだらしないように、こうやってノートを持って来させ、全ての意見を大げさにほめていく。こうすることで、意欲が喚起され、ドンドン書くようになる。</p> <p>子どもたちに発表させると、それだけでいろいろな発言が飛び出し、盛り上がっていくことだろう。「白い」のは、雪なのか「氷」なのか等々。又、写真の情景(場所・時間・天気等々)を読み取らせて、「冬」を確認していくとよい。この頃から、写真を読み取る力を育てていきたい。</p>
2 ~ 3	<p><u>指示 2</u> . ここにある新聞記事(班毎に新聞を数日配布)から「寒そうな写真」を見つけて、どんどんノートに貼って行って下さい。</p>	<p>教師サイドで提示するだけでなく、「自分で探す」時間も設けてみたい。外に出て探すだけが授業ではない。新聞という情報から「季節」を探す授業をしていければと考える。いろいろな季節で応用でき、外へ出て探す場合の一つの情報源となることだろう。</p>
4	<p><u>指示 3</u> . では、今日は外へ冬探しに出かけます。新聞記事で見つけた以上に、冬を探してきてね。</p>	

評価

写真から、いくつ位の情報を引き出すことができたか。
友達と意見の交換や発表ができたか。
新聞記事から冬探しをすることができたか。
探した記事をノートに上手に貼ることができたか。
家庭でも新聞記事から冬を見つけてくることができたか
意欲を持って、外へ冬探しに出かけることができたか。

関連する他の分野・単元名：

図工科でのスケッチ・国語科での作文指導・音楽科での季節の歌等々

< 新聞記事に添付するコメント >

〔1997年12月10日 熊本日日新聞夕刊〕 文章は、教師の方で「意識」して簡単に読んでやるといいだろう。

〔1997年5月16日 熊本日日新聞夕刊〕 このように、新聞記事にはその季節にマッチした、たくさんの写真が載せられてくる。それを授業に使わない手はない。